

令和元年第8回茂原市教育委員会会議（12月定例会）日程

日時：令和元年12月18日（水）15時～

場所：茂原市役所9階901・902会議室

1. 開会宣言

2. 会議録署名人の指定

3. 会議事項

（議決事項）

議案第1号 茂原市立小学校及び中学校管理規則及び茂原市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定について

議案第2号 茂原市文化財審議会への諮問について

（協議事項）

茂原市立二宮小学校及び茂原市立緑ヶ丘小学校の統合校の校名について

（報告事項）

1 令和元年度12月補正予算について

2 行事の共催、後援及び協賛について

3 令和2年第1回（1月定例会）及び令和2年第2回（2月定例会）茂原市教育委員会会議の日程について

4 その他

4. 閉会宣言

（会議結果）

議決事項について、議案第1号及び議案第2号は原案どおり可決されました。

茂原市教育委員会会議録

令和元年第8回（定例会）

- 1 期日 令和元年12月18日（水）
開会 午後3時00分
閉会 午後4時00分
- 2 場所 茂原市役所9階会議室
- 3 出席委員
教育長 内田 達也
教育長職務代理者 齋藤 晟
委員 高貫 裕一郎
委員 高仲 輝夫
- 4 出席職員
教育部長 久我 健司
教育部次長（教育総務課長） 渡辺 裕次郎
学校教育課長 保川 浩基
生涯学習課長 佐久間 尉介
体育課長 山本 茂樹
中央公民館長 岡田 公一
美術館・郷土資料館長 三階 英幸
東部台文化会館長 中澤 浩子
学校教育課主幹 金坂 暁
学校教育課主幹 金澤 勤
学校教育課主幹 植草 佳代子
美術館・郷土資料館主査 岸波 宗岳
教育総務課長補佐 川崎 弘道
教育総務課総務係長 小安 宏尚
- 5 署名人の指定
教育長職務代理者 齋藤 晟
委員 高貫 裕一郎
- 6 傍聴人 3名

内田教育長 : ただいまから、令和元年第8回茂原市教育委員会会議（12月定例会）を開会します。本日の出席人数は、4名ですので、定足数に達しており会議は成立いたしました。本日の会議録署名人は、「齋藤委員」と「高貫委員」を指定いたします。これより会議事項に入ります。本日は、議案が2件となっております。

それでは、議案第1号「茂原市立小学校及び中学校管理規則及び茂原市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定について」説明をお願いします。

久我教育部長 : 議案第1号「茂原市立小学校及び中学校管理規則及び茂原市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定について」ご説明申し上げます。

本案は、昨年の夏の記録的な猛暑を受け、小中学校及び幼稚園へのエアコン設置工事を進めておりますが、今年度中に設置完了が見込まれることから、緊急措置として夏休みを延長していたものを来年度終了することに伴い、所要の改正を行うものでございます。

それでは、参考資料の茂原市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則新旧対照表をご覧ください。

第19条の2において、第2号の夏季休業日の開始日について、「7月16日」を「7月21日」に改め、夏休みの延長を終了いたします。

また、第3号の冬季休業日の期間について、「12月26日から翌年1月4日」を「12月24日から翌年1月6日」に改め、期間を調整いたします。

次に、茂原市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則新旧対照表をご覧ください。

第14条の2において、第2号の夏季休業日の開始日について、「7月16日」を「7月21日」に改め、夏休みの延長を終了いたします。

また、第3号の冬季休業日の期間について、「12月26日から翌年1月4日」を「12月24日から翌年1月6日」に改め、期間を調整いたします。

なお、この規則は令和2年4月1日からの施行となります。

以上、ご審議の程よろしくお願い申し上げます。

- 内田教育長 : それでは、議案第1号について質疑をお願いします。
よろしいでしょうか。それでは、議案第1号について採決に入ります。
議案第1号について、原案どおり可決することに、ご異議ございませんか。
- 各委員 : 異議なし。
- 内田教育長 : 議案第1号は、全会一致で原案どおり可決することと決定いたしました。
次に、議案第2号「茂原市文化財審議会への諮問について」説明をお願いします。
- 久我教育部長 : 議案第2号「茂原市文化財審議会への諮問について」ご説明申し上げます。
現在、茂原市指定文化財への指定に向けて検討しております文化財が2件ございます。

1件目は、茂原市立美術館・郷土資料館が所蔵しております「篠崎家文書(もんじょ)」です。これは下太田地区の有力者であった篠崎家に残されていた、江戸時代から昭和にかけての古文書で、茂原市史編纂の一環で調査がなされました。

江戸時代の文書には、下太田村の年貢関係の事柄が書かれている珍しい資料です。また、儒者として著名な荻生徂徠・北溪(ほっけい)兄弟の兄で、本納に残って医師をしていた荻生春竹(しゅんちく)の篠崎家へ宛てた書簡が、当資料にて初めて発見されました。

明治以降のものでは、篠崎家が学業の支援をしていた鶴澤総明(ふさあき)からの手紙が多数あります。これらによって、第一高等中学校を休学したことや大学卒業後すぐに弁護士を開業したこと、結婚の日付など様々なことが判明致しました。

当時における地域の様子や、茂原が誇る偉人である鶴澤総明の心情が推察できる大変貴重な資料です。

続きまして2件目は「龍(りゅう)鑑寺(がんじ)欄間(らんま)彫刻(ちょうこく)三面(さんめん)」です。

龍鑑寺は市内七渡にあり、807年に空海の開基と伝わる由緒ある寺院です。

その本堂内にある欄間が今回指定しようとするもので、江戸の彫工で名人と言われた長坂(ながさか)友(とも)雅(まさ)によって、1798年に制作されたものです。美術的価値だけでなく、当時の龍鑑寺や七渡の人々の経済力をうかがい知ることのできる、歴史資料としても重要なものです。

以上、御審議の程よろしくお願い致します。

- 内田教育長 : それでは、議案第2号について質疑をお願いします。
- 齋藤委員 : これは文化財に指定されますと、こういった特典があるのですか。
- 佐久間 : 管理費用といたしまして年間5000円支給させていただきます。
- 生涯学習課長 : そして私有物ではなくなるというわけですね。
- 齋藤委員 : 指定文化財に指定されますと、例えばこういった形で展示をさせてほしいということで、こちらの方からもお願いが付きまといますので、これからはご自身で自由にできるという訳にはいかなくなります。
- 佐久間 : 指定文化財に指定されますと、例えばこういった形で展示をさせてほしいというので、こちらの方からもお願いが付きまといますので、これからはご自身で自由にできるという訳にはいかなくなります。
- 齋藤委員 : ありがとうございます。
- 内田教育長 : 他にありませんでしょうか。

- 高貫委員 : 篠崎家文書は美術館にあるということなのですが、龍鑑寺さんにあるものは今後管理というのはあくまで龍鑑寺さん自身がやっていかなければいけないでしょうか。
- 佐久間生涯学習課長 : 委員のおっしゃる通り、龍鑑寺の方で管理していただく形となります。
- 高貫委員 : 費用的なものが心配ですね、台風等があったりすると心配ではないかなと思うので、何とかできる方策とかがあればいいのかなと思うのですが。
- 佐久間生涯学習課長 : 過去にも永興寺という寺がありまして、そちらが修繕をした際にかかる費用の2分の1を県の方で補助します。市でも県費の金額の2分の1を補助するような形をとっておりますので、仮にそういうことがあった場合、お話いただければそういう対応をしていきたいと思えます。
- 高貫委員 : ありがとうございます。
- 内田教育長 : 他にありますでしょうか。
よろしいでしょうか。それでは、議案第2号について採決に入ります。
議案第2号について、原案どおり可決することに、ご異議ございませんか。
- 各委員 : 異議なし。
- 内田教育長 : 議案第2号は、全会一致で原案どおり可決することと決定いたしました。
次に、協議事項に入ります。協議事項「茂原市立二宮小学校及び茂原市立緑ヶ丘小学校の統合校の校名について」説明をお願いします。
- 保川学校教育課長 : 今回の教育委員会会議では、二宮小学校及び緑ヶ丘小学校の統合に際し、大変重要な案件であります新校名について、ご協議をしていただくことになっております。そのために、今までの経緯についてご説明いたします。
少子化により児童生徒数が減少し、小中学校の小規模化が進む中、茂原市教育委員会では、より良い教育環境の整備に向けて平成29年3月に「茂原市学校再編基本計画」を策定いたしました。
この基本計画に基づき、学校の統廃合と通学区域を審議する「茂原市学校再編審議会」を設置、審議を進めるとともに、一方で、学校再編案について住民との意見交換会を実施し、住民の意向の把握や学校再編についての理解を図るようにしてまいりました。
そして、審議会答申や庁内会議等を経て、平成30年3月に「茂原市学校再編第一次実施計画」を策定いたしました。二宮小学校と緑ヶ丘小学校の統合は、この実施計画の中に位置付けられております。
両校の統合については、平成30年11月1日に統合準備委員会設置要綱を策定し、保護者、地域住民、教職員から構成される委員12名により、毎回、慎重審議が行われております。
第1回委員会は、令和元年6月に開催され、統合準備委員会に係る所掌事務の確認をはじめとして、①委員長及び副委員長の選出、②今後の計画の吟味、③統合校の名称の決定方法、④遠距離通学をしている児童の通学方法について協議を行いました。
第2回委員会は7月に開催され、両小学校の学校・地域の特色や歴史について、委員会内での情報の共有化を図るとともに、統合校の名称の決定方法について議論し、9月4日から9月20日までの期間で両学区在住の住民を対象として公募を行いました。
第3回委員会は11月に開催され、応募結果をもとに新校名候補の絞り込みが行われ、86もの校名案の中から5つを選定しました。
この時の選定基準は、3つの観点、①現在の名称を残す、②両校の名称を合わせて考える、③全く新しい名称にするから選ぶこととし、その結果、「二宮小」「緑ヶ丘小」「二宮緑小」みどりを平仮名とした「二宮みどり小」「二葉小」が選定され、教育委員会会議で1つに決めてもらう運びとなりました。
11月の教育委員会会議でもご報告いたしました。本日の会議では統合準備委員会から選出された5つの候補名の中から一つを選定していただくこととなります。
なお、次回の統合準備委員会の開催は1月に予定されており、校歌・校章の制定、遠距離通学支援策として具体的な案の決定等について協議していく予定となっております。

以上、経緯について説明させていただきました。
慎重審議の程、よろしく願いいたします。

内田教育長 : 統合準備委員会で5つに絞るまでの経緯を説明していただきましたが、大きく言えば9月4日から9月20日までの間公募、450もの応募があり86の校名ができたこと、統合準備委員会で慎重審議をいただいて5つに絞ったこと、旧校名の2つ、2つを併せた校名の2つ、全く新しい校名1つということが、統合準備委員会だよりに記載されていて、11月に発行されています。

前回の教育委員会会議で、この統合準備委員会だよりをもとに報告を受けたなかで、教育委員さんからその時点での考えを頂きました。その時の、教育委員さん達のお考えは、齋藤委員さんは、対等な立場・やわらかい印象を受ける・歴史を考えて二宮という名称が前に出ている二宮みどり小が良いのではないかと、高貫委員さんは、公平に考え二宮と緑ヶ丘が入っている二宮緑小が良いのではないかと、高仲委員さんは、歴史や二宮という名前が消えないようにということで二宮小というご意見をいただいたところでございます。

それが、前回の教育委員会会議でのご意見だったのですけれども、次の教育委員会会議でそれぞれの委員さんが校名とそれをあげる理由を良く考えて提示してくださいという話を前回お話したかと思えます。

その前にご意見があれば伺っておきますが、何かございますか。

それでは、齋藤委員さんからお願いします。

齋藤委員 : 私は、前回「二宮みどり小」と言ったのですが、その後いろいろと考えまして変更するに至りました。今までの純然たる「二宮小」が良いのではないかと。理由は2つございます。昭和27年だと思えますけれども5村1町が合併して茂原市ができました。例えば、五郷村は五郷小がありますし、鶴枝村は鶴枝小、東郷村は東郷小、豊田村は豊田小、二宮村は二宮小ということで、やはりそういった面から見ると、二宮には二宮小がふさわしいのではないかと、思っています。もう1つの理由は、国府関、真名、芦網、山崎そういったところが一緒になってトータルで二宮と言われており、そういった地域から子どもたちが通ってくるわけですから、校名に緑ヶ丘という名称を入れるとちょっと違和感があります。二宮小ということに誇りを持って決めていただければと思います。1つの地域の名前を入れるのはいかがなものかと思ひまして二宮小という名称を提案いたします。

内田教育長 : それでは、続きまして高貫委員お願いします。

高貫委員 : 私は、前回の会議の中で「二宮緑小」ということでお話をさせていただきました。前回は唐突なお話だったのであまり深く考えることもなくそのお名前をお話させていただきました。それから約1ヶ月、その名前を前提に私なりに調べさせていただき色々考えさせていただきました。その中で私の考えるキーポイントとなったのが統合準備委員会だよりの中の③番の新校名案を提案した理由というところで4つにポイントがまとめられているところですが、この中で歴史と伝統、愛着のあるというところをいいますとやはりここは二宮を外せないだろうと。二宮地区という長生郡二宮本郷村が発足してから130年近くが経っているということもありますし、二宮という地名に対する愛着・歴史・伝統、これは何ものにも代えがたい非常に重要な部分だと思います。そして②番目の学校の設置場所がわかりやすいようにというところをいいますと、緑ヶ丘の中にできるという意味でやはり緑という文字を入れるべきではないかなというのが私の考え方でございました。そして③番目の子どもたちが夢や希望をもってというところがあるのですけれども、緑という漢字を調べてみると新しい芽が芽吹くということや新たなものが湧き出すとかそういった意味合いがあると自分なりに解釈いたしました。④番目の両校を公平に考えるようにということもありまして二宮と緑ヶ丘の緑を入れるということを考えました。その結果、今回も私は「二宮緑小」が良いのではないかと、提案をさせていただくことになりました。また、これ以外の理由の1つに新しい学校としてスタートする新校名案の公募ということもありますし、緑という文字が新しい芽が芽吹く新しいものが湧きおこるというイメージがあるので歴史と伝統のある二宮に新しいものが湧きたつというような力があるのではないかなと思ひこの校名案を提案させていただきました。ただ、この1ヶ月非常に悩みまして、私としてこれがベストな選

扱かわからないのですが、今の時点ではこれを選択させていただきました。

内田教育長
高仲委員

： それでは高仲委員お願いします。

： 最初に準備委員会だよりのデータ等をもとに感想を申し上げます。公募の結果から学校愛、郷土愛といいますか、どちらの学校も大切にしたいという思いと新しいスタートをきりたいということから校名を考えて応募されたということで敬意を表したいと思います。お国自慢という言葉がありますけれども、ふるさと自慢それから学校自慢ということに繋がっていくのではないかと。今回の応募されたことをきっかけにふるさとを見直してくれたということで大変嬉しく思っています。その中で5つの候補の中から1つ選べというのは非常に苦慮することであります。5つの中から1つ選ぶというのは4つを捨てるという申し訳ないなという気持ちでございましてお許し願いたいと思います。私の考えは1番の「二宮小」であります。理由は3つあります。1つは公募の結果から、一番多いという数字であります。2番目に地域の由来する名前が非常に重いものがあるということであります。それから、その名前が各施設のシンボルということになっていることでもあります。具体的に申し上げますと二宮は先ほど話に出ました二宮本郷村からスタートしているということがあります。昭和22年に正式に二宮小学校に改称されています。緑ヶ丘地区は二宮地区に含まれるということもお聞きしております。それからシンボルとなる施設名として二宮保育所、二宮福祉センターなど二宮という文言をつけておりますので二宮という二文字は外せない、重みのある言葉と捉えております。3つ目ですが、これまでの学校の変遷と今後のことを考えてであります。学校の歴史は制度改革といわゆる人口の増減によりいろいろな対応をこれまで求められてきております。例えば具体的に申し上げますと明治5年に学制が頒布されて、明治5・6年に学校ができ、多くの学校がここを創立のスタート地点としております。その後、国民学校と言う名称を変えた時代がありました。昭和27年に茂原市の政令施行により茂原市立〇〇小学校という名前が立ち上がってきたという歴史がございまして。その後、経済の発展人口の増加によって子どもの数が急激に増加して大規模の学校は分離していき、あるいは学区編成で対応したというような流れがこれまでございました。二宮小で申し上げますと、二宮小で明治6年に創立して昭和22年茂原市立二宮小学校に改称されたと、平成3年に緑ヶ丘に宅地開発がなされ分離して緑ヶ丘小学校が創立されたという経緯がございまして。流れから見ると1本の路線の中で平成3年に二つに分かれてきたという時代の変遷によって1つにしようという流れであります。学校には、学校の歴史沿革史を永久保存するという役割も1つあります。それから卒業生台帳やら子どもたちの活動の記録を残しておくという記録を保存するという役割もあります。その記録保存という面からも考えると代表する二宮小学校という名前を付けておいた方が今後も生かされていくのではなかろうかというような気がいたします。終わりに、現在、少子高齢化で子どもの数がどんどん減っていくことが考えられます。学校の統廃合は今後さらに求められていくと思います。ニュースでは、日本の出生数はこの前90万人だったものが86万人を割るような見込みであると情報を得ました。予想より2年も早くなっていると言われております。

今後、茂原市内の学校もどんどん少なくなっていく統廃合という道を求められています。例えば早野中学校も随分人数が減ってきておりいずれ考えていかなければいけないような気がします。そうなった時に学校名をどうしようかとなりますが1番は学校の歴史を見ながら地域の名前を見ながら考えていくのが一番良いのかなという自分なりの考えを持っております。いずれにしても、懸念されることが1つ選ぶということは4つを切り捨てるということで、緑ヶ丘地区の皆さんには申し訳ないのですが「二宮小」でお願いしたいと思います。

内田教育長

： 今回3人の中で2名が「二宮小」、1名が「二宮緑小」と提案された訳ですが、他の委員さんの提案理由等を聞いて何かご意見ある方はいらっしゃいますか。

高仲委員

： 新しい学校名、例えば令和というような名前を考えてくれた人達たちもここである程度新しいスタートを切りたいなという気持ちがあると思います。その辺も捨てがたい気持ちがあるということは申し添えておきます。

高貴委員

： 私も調べた中で緑ヶ丘地区というのは齋藤委員さんがおっしゃったように元々二宮の中の山崎地区の一部が緑ヶ丘になったと聞いたのですが、そう考える

- と確かに緑ヶ丘も二宮だと思っていました。
- 内田教育長 : 私が考えたことなのですが、まずは5つに絞られるまでの経緯の説明がありました。統合準備委員会の方々には色々なご意見をいただいている、会議録を見ると86の応募をいただいている非常に多いのが、二宮小と緑ヶ丘小という元々の名前にして欲しいというのが圧倒的に多いんですね。圧倒的に多かった二宮小と緑ヶ丘小はまず入れましょう。2つの名前を合わせた2つ。新しい名前では二葉小が選ばれた。今日の資料の中にもそれぞれの名前と理由を書かれたものが入っており、全部の応募者の校名とその理由を読みました。大まかに分けると自分の学校名を残したいということ、公平に2つを入れるのがいい、新しいスタートを切るということで新しい名前を考えてくれたという3つに分けられると思いました。そして二宮小、緑ヶ丘小それぞれの子どもたちが書いた学校名と理由も全部見てみました。やはり今回の統合によって一番影響を受けるのは、今学校にいる子どもたちではないかなと思っています。それは卒業生も自分の学校が懐かしいし、これから入っていく子どもたちも学校には希望を持っています。今まであった二宮小と緑ヶ丘小という学校が再来年から統合して同じ学校になるときに心理面でも勉強するときでも運動するときでも一番負担を受けるのは今いる子どもたちではないかなと思いいく読みました。子ども達もやはり学校名を残したいと2つの学校を合わせたらどうかと新しい学校名を一生懸命考えてくれていることが分かりました。その中で特に私が非常に感動したというか感心したのが、二宮小学校の中に緑ヶ丘小学校と書いた子は1人もいません。しかし、緑ヶ丘小学校の中に二宮小が良いと答えた子が5人、新二宮小が良いと答えた子が1人いました。それを書いた子どもたちの理由に、校舎が緑ヶ丘で校名が二宮なら公平になるから、二宮小学校の人が来るので名前を残してあげたいと書いてあります。二宮の方が、歴史が長いからと書いている子もいる。やっぱりこういう気持ちを育てていってあげなきゃいけないのではないかと、私は負担を考えた時に二宮小の子どもたちは全く新しい校舎に行き勉強しなければならない、緑ヶ丘の子どもたちは今までと同じ環境・校舎の中で友達関係は変わってきますが、子どもたちの負担を考えた時には二宮から緑ヶ丘に移ってくる子ども達の負担を軽減してあげるためにも、公平感のためにも校舎は緑ヶ丘、名前は「二宮小」がいいのかなと思いました。そして、名前を決めてから統合するまで1年間ありますから、その中でお互いに尊重し合って仲良くしていこう、新しい学校で一緒になっていこうという気持ちを持ってほしいしそれぞれの学校で教育して育ててあげていってほしいなと思いいく「二宮小」と考えてみました。
- そういった中で二宮小と二宮緑小と2つに絞られた訳ですがいかががいたしましょうか。
- 高貫委員 : 私は二宮緑という名前をあげさせていただいたのですが、この1ヶ月の間色々悩んだというのが応募結果の票数です。二宮小という数が243票、圧倒的に多いと。もちろんお子さんもそうでしょうし、地域の方々もこれに応募されたのではないかなと思います。私があげさせていただいた二宮緑というのは11票で圧倒的に数が違うと。やはり新校名のために応募いただいた思いっていうのはずっと引っかかっておりまして圧倒的に数が違うというのがありました。先ほど言いましたように緑ヶ丘っていうのが元々あった二宮地区の中の山崎の一部であったと考えると二宮地区という大きなくりに入るのかなというように思います。緑ヶ丘の子どもたちが思っている思いを受け止めるべきではないかなと思います。ですので、私も二宮小学校という名前が良いかなと思います。
- 高仲委員 : 学校とは子どもたちのものなんでしょうね。子どもたちが校舎は緑ヶ丘、校名は二宮にすると子どもの負担も少なくなるのではないかなという思いは大事にしたいというような気がします。私も、学校は誰が生活するのかという子どもの視点という発想が抜けておりましたので反省したいと思います。
- 高貫委員 : 付け加えさせていただきたいのですが、私も高仲委員の意見と全く同じで、学校の統廃合って誰のためにするといったら子どもたちのためだと思います。二宮と緑ヶ丘の統合に関して言えば確かに二宮の子どもたちに学校が変わるといって大きな負担を強いられるので子どもたちに配慮してあげるっていうのが教育委員会としての精一杯の務めだと思います。今後も他の学校の統廃合も

- 考えていく中で、一番基本にあるのは誰のための統廃合なのかというのを一番に、今後統廃合を進めていかなければならないと思いました。
- 内田教育長 : 二宮緑を提案していた高貫委員が二宮小で良いのではないかという意見がありました。それでは教育委員会4名の総意ということで「二宮小学校」に決定するということによろしいですか。
- 各委員 : 異議なし。
- 内田教育長 : 理由ですけれども、先ほど私は子どもの気持ち、負担を考えてという話をしましたけど、それぞれの委員さんから出た歴史であるとか、学校の変遷であるとか、二宮地域はそれぞれの地域から集まってできている地域の名前のことだと、色々なことを総合して教育委員会としては、「二宮小学校」という名前に決定するということにさせていただきたいと思います。
- 非常に多くの方々から86もの名前をいただいてですね、1つの名前にするという事は非常に苦しいことであることと、二宮地域の方々緑ヶ丘地域の方々がいる中で緑ヶ丘小というふうに緑ヶ丘の方からもいっぱい応募いただいている中で一つにするということは苦しい決断ではあるのですが、今後の子どもたちのこと、それから今後の地域のことを考えて、教育委員会としてはこれがベストだろうということで「二宮小学校」ということで決定したいと思います。よろしくお願ひいたします。
- それでは、次に報告事項に入ります。報告事項1「令和元年度12月補正予算について」説明をお願いします。
- 渡辺 教育部次長 : 報告事項1「令和元年度12月補正予算について」ご説明申し上げます。
- この内容は、12月に開催されました茂原市議会12月定例会におきまして、「台風15号による大雨被害等による補正予算」、「10月25日の大雨被害等に係る補正予算」につきましては、専決処分として承認され、「令和元年度12月補正予算」につきましては、議案として可決されたものでございます。
- まず、「台風15号による大雨被害等による補正予算」につきましては、歳入で5,870万1千円の増額補正、歳出で8,093万円の増額補正を行いました。
- 次に、「10月25日の大雨被害等に係る補正予算」につきましては、歳入で3,348万2千円の増額補正、歳出で5,884万6千円の増額補正を行いました。
- 最後に、「令和元年度12月補正予算」につきましては、歳出で1,500万4千円の増額補正を行いました。
- 説明は以上となります。よろしくお願ひいたします。
- 内田教育長 : それでは次に報告事項2「行事の共催、後援及び協賛について」説明をお願いします。
- 渡辺 教育部次長 : 教育委員会で共催、後援又は協賛を決定した行事について、ご報告いたします。
- 令和元年11月に決定した行事は、「後援」につきましては生涯学習課で1件、「協賛」につきましては、本納公民館で1件、合計2件でございました。
- よろしくお願ひいたします。
- 内田教育長 : それでは報告事項2について、ご質問等ございますでしょうか。他にありませんでしょうか。よろしいですか。
- それでは次に、報告事項3「令和2年第1回（1月定例会）及び第2回（2月定例会）の茂原市教育委員会会議の日程について」説明をお願いします。
- 渡辺 教育部次長 : 令和2年第1回及び第2回の茂原市教育委員会会議の日程についてご報告いたします。令和2年第1回の1月定例会につきましては、1月29日水曜日、15時より開催いたします。なお、定例会開始前の14時より5階の503会議室におきまして、茂原市教育委員会感謝状贈呈式を行います。
- また、第2回の2月定例会につきましては、2月17日の月曜日、13時15分より開催いたします。この日は、15時より5階の501・502会議室におきまして、学芸・文化・体育功労者等表彰式を行います。定例会につきましては、いずれもこちらの9階会議室で行います。よろしくお願ひいたします。
- 内田教育長 : 会議日程について、よろしいでしょうか。
- 各委員 : はい。
- 内田教育長 : それでは日程については、そのようにお願ひいたします。

- 渡辺 教育部次長 : その他報告がありましたら、お願いします。
「令和元年度茂原市教育功労者表彰式について」ご説明いたします。
表彰式につきましては、当初11月3日に予定しておりましたが、10月25日の大雨による被害対応のため、表彰式の日程を延期して令和2年1月19日の日曜日に市役所5階の会議室を会場に行います。
当日ですが、教育委員の皆様は13時50分までに庁舎1階の西側・北側出入口よりお入りいただき受付をお願いいたします。開会までは1階の控室でお待ちいただきます。表彰式は14時に開会となりますので、以後は、お配りしました資料「令和元年度茂原市教育功労者表彰式について」次第のとおり進めてまいります。
以上、よろしくをお願いいたします。
- 内田教育長 : それでは何かご質問等ございますか。
他に報告がありましたら、お願いします。
- 渡辺 教育部次長 : 令和元年度茂原市教育委員会会議の傍聴につきましては、新規採用教員を対象に本日予定しておりましたが、日程を変更し、令和2年1月、2月に分けて実施いたします。各日程の参加者は、お配りした資料のとおりです。
よろしくをお願いいたします。
- 内田教育長 : 教育委員会会議の傍聴について何かご質問等ございますか。
その他報告がありましたら、お願いします。
なければ、以上で令和元年第8回教育委員会会議を閉会します。

茂原市教育委員会会議規則第27条の規定により、上記会議録が相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和2年1月29日

教育長 内田 達也

署名委員 齋藤 晟

署名委員 高貫 裕一郎